

マツダ財団が科学技術事業助成で今年度支援している「呉工業高等専門学校」の公開講座「エジソン・スクール」を見学しました。

この講座は、8回/年で計画され、毎回異なる内容の実験と工作を体験できる講座です。毎年継続して開催され、マツダ財団としても数年にわたり支援させていただいています。

今回(9/23(土)開催)のテーマは、「電気を『音にする』～音の実験と鉛筆電子楽器の製作」で、午前と午後の2回に分けて開催されました。午前の部の見学をさせていただきましたが、参加者は、小学生2名、中学生8名、保護者5名の計15名でした。(男子7名、女子3名の構成)。内容は、電子基板に素子をはんだ付けし、端子を鉛筆で黒く塗った紙に接続し、音を発生させ、塗る場所、濃さなどで、音の出方を観察するものでした。工作を始める前に、音の伝わる原理についてスリンキー(バネのおもちゃ)を使用したり、身近にあるスピーカーの技術について実物を使って体験するなど、目や耳で聞いて理解しやすい説明が行われ、基礎知識がなくても興味を引くような工夫をされていました。工作自体は、はんだを使ってプリント基板に複数の素子を固定するもので、はんだ付けの初心者が多く、苦勞していましたが、講師の先生から、はんだ付けのコツについて拡大模型を使い分かりやすく説明されたり、ティーチングアシスタント(TA)として参加された専攻科の学生の方から、アドバイスを受けながら完成させていました。



参加者は、呉市内だけでなく、広島市中区、熊野町など幅広い地域の方がおられました。また、今年すでに開催された別日程の講座に参加されたりピーターの方もおられるように、楽しかった、また参加したい等の意見が聞かれました。理科、算数/数学が得意との回答が多く、科学への興味をさらに促進するとてもよい効果があるのではないかと感じました。

呉工業高等専門学校では、クリスマスサイエンスショーの企画も準備されており、幅広い層へ向けた理系への興味を引き出し→エジソン・スクールでさらなる興味の深堀という良い流れが形成されているように感じました。(佐々木)